

41人の思いを形へ 「子ども議会」開会



11月21日、子どもが議員を務めた「子ども議会」が町議会本会議場にて開催されました。

今回は新得小学校、屈足南小学校の6年生41人がグループごとに登壇し、全8班が浜田町長、武田教育長などへ一般質問をしました。

「子ども議会」は町政や議会に関心をもってもらうとともに児童の発表と思考の力を養うことを目的として開催しています。

子どもたちは広い視野と柔軟な発想から、たくさん思いを町に投げかけてくれました。

今月号では、子ども議員の思いやひらめきと、それに対する町の考え方について紹介します。

※質問、答弁ともに一部言葉を省略しています。

今後も予想される災害への水道対策について

目黒結愛那、浪岡大裕、橋本七都、高本司空 議員（屈足南小）

質問

（目黒結愛那議員）



目黒結愛那議員

8月31日の台風では、町内のほぼ全域が2週間以上にわたって断水になり、生まれて初めて、家庭で水が使えないことの不便さや大変さを思い知らされました。

今後の対応ですが、ある程度の大雨でも流されないような取水施設をもつ一度整備をしていきます。また、1箇所の水道管に被害があっても、違う管の方から水を供給できるような水道管の整備というものを考えていきたいと思っています。

また、新たな水源地についても増やしていくことを考えていかなければならないかなと思っています。そこでは、地下水の利用を検討していきたいと思っており、現在、電気探査という調査を進め、地下に水があるかどうか確認しているところです。

いずれにしても、これから整備する施設というのは、整備に数年かかると思っていますので、安心して暮らせるように、少しでも早く、安全で確実な水の対応をしていけるように努力をしていきたいと思っています。

また、今回の断水の間、特にトイレの利用ができなくて大変苦労をしましたが、皆さんが通っている屈足南小学校や新得小学校には水を一時的に貯めることができる貯水槽があったため、トイレなどで水を使うことができました。

断水になっても水を使える設備があることは、生活をするうえで重要なことから、これから建て替える屈足保育園には、断水になってもトイレなどの生活水が利用できる設備をつけることを考えています。

新聞やテレビなどのニュースを見ていると、地球温暖化が進んでいる現在、今後も、北海道に大きな台風が上陸する可能性があるということを知りました。

今回のように、取水口や水道管が被害にあったときに備えて、今後どのような対策をとる予定があるのか、決まっていることがあれば教えてください。

答弁

（浜田町長）



浜田町長

ます。また、他の施設でも可能であれば設置に向け、改修を進めていきたいと思っています。

質問

（浪岡大裕議員）



浪岡大裕議員

8月末の台風の後には、屈足の総合会館に給水所が設けられました。自宅が総合会館から離れている一人暮らしのお年寄りの方は、重たい水運びの苦労している様子が見られたので、私たちも何らかの水運びお手伝いをしたことがあります。

再び、このような状況になった時には、自宅からの距離があまり遠くなる人がいないように、給水所の数を増やすとか、各地域や町内会で一人暮らしのお年寄りの水運びをお手伝いする人などを決めておくなどの対策があると良いと思うのですが、いかがでしょうか。

答弁

（浜田町長）